

課題等への対応策

施設名称

施設名称	ほたるの里交流館
指定管理者	株式会社 福井開発
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日
所管課	西蒲区産業観光課

課題等への対応策(指定管理者)

	課題等	対応策(いつまでに、どのように、対応するか。)
1	人件費も含め、この建物の維持管理に要する費用の明確化が必要である。	1つの会社が2つ施設の指定管理を受けていますが、人件費及び維持管理に要する費用は、申込受付・利用者への対応・自主事業の運営及び施設設備の委託料並びに修繕・補修などに係る経費であり、交流館全体に係る経費として明確な管理に努めます。
2	利用者ニーズ把握のため、アンケートの質問項目の改善、回答者数の増大などに努めるべきである。	アンケートにつきましては、見学だけの入館者の回答数の増加に努めるとともに、有料利用者や自主事業参加者からの意見や改善点などを回答項目に追加いたします。また、ご指摘のございました木材関連の回答項目も合わせて取り入れてまいります。
3	施設のPRが不足している。まずは、文化会館、公民館、コミセンなどにパンフレットや案内のコピーをおくことから始めてはどうか。ホームページ開設も検討して欲しい。	ホームページにつきましては、平成27年3月に完成して今現在見る事が出来るようになりました。これを有効利用できるように今後、市(区)ホームページなどとリンクをお願いして情報を広めるようにします。また、公民館等でパンフレットを置いていただけるよう協力をお願いしたいと考えます。
4	1F、2Fの会議室の休憩利用は隣にじよんのび館があるため、期待できない。会議や研修利用にしぼったら良いのでは。そのためにはWiFiの設置が必要である。比較的安価にできる方法もあるので実現して欲しい。	交流館の使用で一番良い方法は交流館で会議をしていただく、そして、じよんのび館でお風呂や食事をしてもらうことが良いと考えております。この利用情報をホームページ等で広められるよう努力します。また、WiFiについては、電話回線等の状況を確認しながら今年度中に設置できるようにしたいと思います。
5	新しく施設の有効活用を市と協議するべきである。	使用者が年々減少する傾向であり、増加させるためにも担当課をはじめ関係部署と積極的に協議を行ってまいります。

課題等への対応策(市)

	課題等	対応策(いつまでに、どのように、対応するか。)
1	新しく施設の有効活用を検討するべきである。	西蒲区の観光拠点である角田山の麓という立地条件を生かし、交流館周辺や角田山などの山野草を紹介したり、昔の巻地域の写真を展示するなど、自然環境の良さや植物種類の豊富さ、懐かしい原風景などについても積極的にPRして活用を図りたい。 また、ホームページで会場使用をPRするなかで、近隣で活動するサークルや同好会などの活動の場として、自主事業から自主サークルを育て会場利用につなげる方策も検討したい。 会議やサークル活動のみならず隣接するじよんのび館で入浴や食事ができることもPRし、潜在ニーズの掘り起こしに努め、ホームページや交流館窓口でお知らせしてまいります。 これらの取組みを平成27年度中に順次進めてまいります。